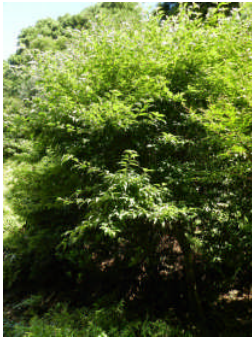


ミズキ (クマノミズキ)

[木本] 《嗜好》



枝を横に広げた樹形になる。



葉は対生し、側脈は緩やかに湾曲する。



初夏に開花する。

区別のポイント

(クマノミズキ)

葉は対生し卵状長楕円形。冬芽は芽鱗に包まれていない。枝先に直径 10 cm ほどの散房花序をつける。

形態 落葉高木。

分布 沖縄を除く日本全国。

名前の由来 樹液が多く、春先に枝を切ると水が滴り落ちることと、三重県熊野にちなんだところから。

葉 **〈全体〉**卵状長楕円形で長さ 6～15 cm、幅 3～7 cm。

〈付き方〉対生 (クマノミズキ)

〈葉柄〉長さ 1～3 cm。 **〈基部〉**広くさび形。

〈葉先〉尾状に長く尖る。

〈縁〉全縁。

備考

出典 3, 5